

かいわやく

昭和51年7月20日

題字・先代 藤井得三郎氏

政治不安による景気の沈滯が各方面に亘って影響が出ている中で製薬業界だけが例外ではあり得ない。特に中小規模の企業に与える影響の大きいことは言を俟たない。

それに加えて旧来の見方を変え新しい事例から判断しての薬効洗い直しの結果が相次いで新聞紙上に発表されて以来、薬に対する不信感から広まっている需要の減退はより深刻となっている。

景気の影響は一製薬業界だけで回復を計ることは出来ないが、再評価による一般大衆の薬に対する不信感こそは大衆薬メーカーとしても今後大いに信用回復に努力をしなければならないことである。

これからの大衆薬を思うとき安全性と有効性とその上にやはり経済性を考えなければならないことは当然

東京都家庭薬工業協同組合
理事長 津 村 重 舎

巻頭言

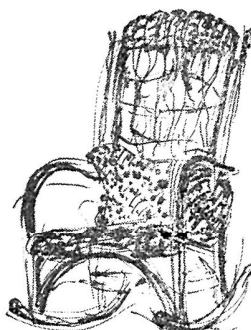
ある。大衆に理解される用語と専門語との関連も大いに考えるべきであろう。また単味の医療用薬と大衆薬との関連は特に重大であるので一層知恵を絞るべきである。

経験により信用を得、需要を伸ばしてきた大衆薬が近代化學の分野からのみの判断だけを頼りに評価されてしまつて良いものだろうか。現在

振りかえつてみても我が業界にも過去数多くあつた小企業がいろいろな意味で整理されたり新らしくなつたりして來たが、果して我々に共通の問題としてその救済策なり方法なりを充分に考え真剣に対応して來ただろかと反省するとき、誠に肌寒い思いを感じるのは私だけであろうか。小は小なりに共同の利益の為に生き残る方法を發見する努力をしたであろうか。科学の進歩は目覚ましいものがある。その優れた機構力だけでも共同利用できないものだろうか。それはGMPにもつながらるものであるので特に重大であると思われる。がなかなか複雑ではある。しかし放つておけるだろうか。問題は実際に山積し続々と後から現われ

の段階では他に方法なしとしても時間的経過の中にある良いものを見出す努力もそれは大変なことであろうが、新たに始めるべきであると痛切に思う。

現在は自然に帰れとさかんに呼ばれている。その事は世界における生活の複雑な機構を研究する途上で微分して來た結果得られた大きな成果であったが、同時にいろいろな面において総合することも極めて必要である。今こそ大いなるお互いの理解と信頼のもつとも必要な時である。



玉置弘トカット

ないだろうか。

時流におもねる事は敵に謹しむべきであるが、過去における判断の要素の不備が發見され、より優れた基準が設けられた場合新しい方向に取り入れられるのはそれ 자체正しいこ

となのではないか。ここに大衆薬全體が今まさに直面している考えるべき問題があると思う。

全国家庭薬協

議会について

全国家庭薬協議会

会長 津村重孝

ご承知のとおり全国一般薬協議会が全国家庭薬協議会として改組新発足して二ヶ月を経過しました。お陰をもちまして、常任理事会並びに各委員会の運営も緒につきましたのでこれからは一段と皆様方のご要望に応えられるものと確信いたす次第です。そのためには、皆様方からの活動をご発言を期待する訳で、何かご希望、ご提案がありましたら、すぐ東京都家庭薬工業協同組合賛付でお申出下さい。

◎ 組織について

会則に従いまして、正副会長、常任理事で構成される「常任理事会」が業務を執行いたします。本会は大体隔月に開催し、構成員は万難を排して出席して頂くことを原則としており、万止めを得ない時のためにそれぞれ登録代理人を定めてあります。

常任理事会構成員一覧表

表(1)

区分	会社名	氏名
会長	津村順天	孝太郎
副会長	荒川正彰	義久
会長	久光	昭
副会長	参天	太郎
常任理事	金内堀	二郎
常任理事	木伊	功助
常任理事	龍心	護郎
常任理事	命林	輝三
常任理事	養岡	一正
常任理事	小笛	輝
常任理事	丹大	良
常任理事	森口	邦次
常任理事	柴松	雄
常任理事	松山	次

す。

メンバーは表(1)のとおりです。
◎ 委員会について

前述の常任理事会の下に実務的な処理をする次の各委員会があります。

この委員会は、日薬連の関連する委員会での審議に対応することを主たる業務としておりますが、運営は担当の正副会長と委員長にお任せし、外部に対して意志を表明する際には

紹介いたします。表(2)

前記の委員会のうち薬事委員会では、検討の結果、各小委員会のメンバーを個々に定めず、全委員が三つ

の小委員会の委員を兼任することと

伊太利硝子の原色に溶け豆の花

薔薇剪つて冷たいワインが
欲しくなる

六月や白地に紺のテニス服

失敗だらけの男童を掌に這はず

ひげ題目の塔婆を読むか

なめくちり

父の日のいささか忸怩として

酔へり

小綏鶴に聴き耳たてて梅雨菖

冷たいワイン

玉置石松子

常任理事会の充分な諒解を得て行なうこととなっております。

勿論常任理事会は、必要のある場合はいつでも開催できるよう準備されています。

し、小委員会にも正副委員長をおいて運営に万全を期することになったと報告がありました。

●活動内容について基準作成にとりかかっており、この

件に関しては、近くご報告申しあげるつもりです。又、その他の委員会でも、GMP、流通問題等に取り組んでおりますが、これらについても逐次必要に応じてお知らせしたいと思っておりま

す。以上のとおりでございますが、まだ発足より日が浅いので、具体的な事項が申しあげられないことをお詫びいたします。

表(2) 各委員会一覧表

委員会及び小委員会	委 員 氏 名
総務委員会 ※ 津 村 重 孝 (津村順天堂) ◎ 堀 泰 助 卓 ○ 柴 田 卓	堀 泰 助 心 製 薬 宇 津 広 (救) 心 救 薬 丸 市 川 雄 (宇) 救 堂) 柴 田 雪 冠 品) 松 良 雄 (金 大 薬 品) 良 雄 (森 幸 薬 仁 田 雪 下 仁 丹)
薬事委員会 ※ 荒 川 長 太 郎 (荒川長太郎) ◎ 喜 谷 市 郎 右 衛 門 実 宏 ○ 唐 崎 安 宏 ○ 山 田 安 宏 ○ 薬 制 小 委 員 会 ○ 唐 崎 宏 ○ 山 田 宏 ○ 薬 効 小 委 員 会 ○ 今 吉 関 和 彰 泉 吾 孝 ○ 安 全 性 小 委 員 会 ○ 伊 藤 利 一 之 彦	喜 今 唐 東 吉 山 荒 滝 伊 内 藤 尾 吉 谷 関 崎 卯 田 田 川 沢 藤 田 田 崎 田 市 郎 右 衛 門 実 宏 三 彰 安 慎 英 利 一 将
GMP委員会 ※ 三 田 彰 久 邦 彦 (参天製薬) ○ 渡 辺 俊 彦 ○ 森 幸 保	市 渡 島 川 辺 俊 邦 彦 幸 保
流通委員会 ※ 津 村 重 孝 (津村順天堂) ◎ 堀 内 功 純 季 ○ 森 本 楠 季 ○ 杉 田 纯 季	堀 本 森 三 杉 岩 枝 内 田 本 田 田 吉 内 田 纯 季 昭 辰
広告委員会 ※ 太 田 昭 宏 寅 (太田胃散) ○ 山 田 安 宏 寅 ○ 山 崎	岸 山 萩 山 笹 枝 山 田 崎 田 岡 吉 本 義 栄 安 正 辰 泰
国際委員会 ※ 中 富 正 義 昌 郎 (久光製薬) ○ 高 原 克 一 高 郎	森 石 小 坂 林 沢 原 準 音 一 恭 克

註 ※印は担当会長・副会長

◎は委員長又は小委員長

○は副委員長又は小、副委員長

国会に想う

のことと思ひますので、この度は、少々抽象的に相成ると思ひますが、所感を三つばかり御報告させて戴きます。

全家協会頭 森 下 泰

その後は思わず御無沙汰致し失礼仕りました。

家庭業界におかれましては、最近、いよいよ「全家協」が発足され、津村会長の御熱心な御指導の下に、ますます活発に活動を進めておられますこと、衷心より慶賀にたえません。

然も、私こと、若輩でありますのに、「会頭」という榮職に御推挙を戴き、深く感激ならびに恐縮致しております。微力ではありますが、一所懸命御役に立ち得ますよう努力の所存でございます。

さて、国会の方も、早くもまる二ヶ年が経過致し、その間いろいろと勉強させて戴きました。

国会終盤の状況、わけで、ロッキード問題等につきましては（五月十八日現在）日々の新聞紙上で御高覽

のものではないでしょうか。

問題の解決は唯一つ、「議会制民主主義者が国会を庄倒的に支配すること」しかありません。それが、まさに、本年の衆議院、来年の参議院選挙にかかっている、ということでありましょう。

第二の理由は「二院制の無意味さ、参議院は盲腸的な存在」という

よくもまあ三十年も、こんなバカらしい状態で過して来たものと呆然とします。

この問題も解決の道は唯一つ「自民党（或いは議会制民主主義政党）が絶対多数を占めて憲法を改正する」という以外はあり得ません。

△その二△ 与党国会議員の「国政参与力」の意外に大きいこと。前述のように国会がナンセンス、或いは議事進行という儀式の場と致しまずならば、それなら、一体「誰が政治をしているか」ということになります。

△その三△ 新憲法の二院制は御承知の通り占領軍の内部における米英両国の勢力争いと、その妥協の産物として生み出されました。残念ながら肝心の日本國の歴史も伝統も、国民の実状或いは考え方と全く別の次元で設定され

させたらどうなるか、その答が今の日本国である、ということです。このことであります。

新憲法の二院制は御承知の通り占領軍の内部における米英両国の勢力争いと、その妥協の産物として生み出されました。残念ながら肝心の日本國の歴史も伝統も、国民の実状或いは考え方と全く別の次元で設定され

たものであります。

定数は正が違憲判決を受けて、日本通過→立法→行政……という経過

下しきりに論議されていますが、衆議院はともかく、参議院のこととなると全く文離滅裂と申す他ありません。そもそも制度そのものが、英米両方式を足して二で割ったもの、つまり、全く論理的でないものなので

すから、当然の経過であります。

のなかで、申す迄もなく「初めの方の各省及び与党との協議」こそが国の施策の九十五%を決定するといつて過言ではありません。

一層打ちあけて申せば、その九十五%の九十九%を官僚がマネージしあととの五%が与党議員の意見参考、ということです。

そう云つてしまえば身も蓋もなくなるので、官僚群としては「与党的先生方の御意見によって……」と、懇懃無礼に先生方を利用活用することになります。

そこで、与党議員の出番が廻つてまいります。国会議場ではなく、与党的部会（二十余数あり、殆んど毎朝八時三十分から会合）でのほんの一寸した発言が意外に大きく法律の中身になる、というまことに結構な事実を私はしばしば、見聞し且つ、体験してまいりました。

なるほど「国会議員になりたがるもの当然」と、今さらながら納得したことです。よく云えど文字通り国政参画、理想の実現ということですし、悪くけなせば、だからこそ、ロッキードが起きるのだ、ということになりました。

のことから、二つの問題を申し上げておきたい。

一つは、だから商業界は、商業に詳しい人、理解と愛情のある人を一人でも多く国会に送るべきだということです。

それは、業界の利益代表などとい

うケチな考え方ではなく、業界が国民生活の福祉に大きく、正しく貢献

することです。

これは、業界の利益代表などとい

うケチな考え方ではなく、業界が國

民生活の福祉に大きく、正しく貢献

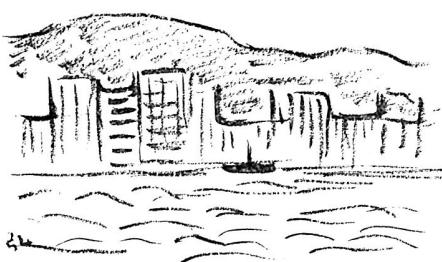
することです。

それは、業界の利益代表などとい

うケチな考え方ではなく、業界が國

民生活の福祉に大きく、正しく貢献

することです。



あの敗戦下の混乱処理、占領軍行 政が世界に例を見ない円滑さを以つて成功したのは、即ち、日本官僚群の優秀さと、その実体を裏書きする以外の何物でもありません。

主人は天皇でも、マッカーサーでも佐藤でも三木でも、そして宮本でもいいのであります。特に、苦学力

行した東大出身者はおしなべて、所

謂、金持の息子（能力もなく努力も

してないのに、親と私有財産制度の

お陰でヌクヌクと贅沢している種族

）に決定的な反感を持っていること

に思いを到す時、私は肌の粟立つ思

いを禁じ得ません。

このことについても、事態をのぞ

ましい方向に導くための唯一の道

は、現有産階級（革命が起つたら損

利ではなく義務ではないでしょ

う）が決然と立ち上り、団結

して闘う（自由社会のタメといふよ

うなきれいごとではなく、己の利益

と地位を確保する為に）ことでありましよう。

二つは、そのビューロークラシイ

（官僚制度）は、ひとたび革命が起

った場合、極めて自然且つスマーズ

に新共産党政権の手足となる、とい

うことです。

彼等は専門技術者であつて主義者

ではないのですから、その専門技術のは、いかにも残念に思えてなります。

が生かされ、己が高い評価を受けせん。

五月十日、私は香港でベトナム・サイゴンの旧代理店主と会い、一夜語る機会を持ちました。

詳細は別の機会に申し述べたいと思いますがひと言で申せば「お話に

△その三△として、最後に去る

五一ひどことではない決断が今、まさに必要なのだと申し上げないで

はおられません。

最早ひとことではない決断が今、

家庭薬の体质はこのままでよいのか

とかく、初代は偉かつたが、二代目、三代目と偉さがうすくなるよう思われがちなんですね。

しかし、一般水準よりも能力が大きいことが多いと思います。

長年やっていますから、社内だけ

経営学者 坂本 藤良氏
社電角散藤井康男氏

でなく、社外に対しても、人間関係が強みになっているわけです。

悪い面はどうかを考えてみますと

同族でない人材がくさつてしまふとか忠告すればとばされるとかありますね。

ワンマンは、もちろん良い面があ

るのですが、人材がくさらないよう

にして、どんどん道をひらいて、能

力いかんでは昇進できるようにする

実例をつくることですね。

江戸時代から「暖簾分け」という制度がありましたが、これは世界的にすぐれたシステムだと思います。

もし、いけないとすれば、どこがいけないのか。そういう点につきまして、お教え頂きたいと思うわけでございます。

坂本 私は同族経営の利点は大き

いと思っていています。

一般的には、いけないと云われ

ますが、いい面をもつと伸ばしたら

いいと思うのです。そのへんの認識

が必要ではないでしょうか。

良い面としては、まず平均に人材

がいるということですね。

一度になつていて、養子制度を活用したということです。実子が人材でない場合の智恵なんですね。住友もやはりその制度ですね。

藤井 面白い話ですね。母系相続なんですねえ。

坂本 天照大神もやはりそうでしたよね。（笑）

値上げ、値上げで、一応実績は合

わせるわけですが、実質的の伸びはないわけですね。

石油ショック以来、体力を消耗し

つくしてるのは、家庭薬業界も例

外ではありません。

資本調達力のない同族経営が、メ

ーカーとして生き残れるかどうか。

昭和恐慌のことを考えてみますと

世界大戦の高度成長が、大正九年に壁にぶつかり、破綻をごまかすため

に「たこ配」とか「粉飾」とかとい

う言葉が生まれたわけです。

その破綻が昭和になって現われる

わけですが、その間、大正十一年に

は右井定七商店が倒産したりして、

それが好くなつて、また関東大震災

で悪くなり、放つておくと、ばたば

た倒産が出るので、日本銀行が手形

を肩替りしたわけです。

その手形をどうするか、という問

題が国会に出たのが昭和二年です。

野党が手形を公表しろと迫って、ち

ょうどロッキード問題と同じです。

その時、大蔵大臣がメモをうつか

り読んでしまって大騒ぎになり、渡

辺銀行の取り付けの発端になり、さ

らに昭和二年の恐慌のきっかけになつたわけです。



坂本 藤良氏

藤井 社長になりたての当初は、まわりからチヤホヤされますし、自分でもやれそうな気になつているんですよ。しかし、当事者の弱みは第三者チェックを受けていないということですね。

自然に「位」が上がつちやうことです。宮様みたいにね。（笑）

坂本 結局、いい番頭さんがいる

なったということを考えられますから、それに代るシステムを考える必要があるわけです。

山本為三郎氏がよく云われていま

したが、大阪の同族会社はうまい制

感はないのですが、資本の調達力が弱いんです。

それが好くなつたら、また昭和四年、ウォール街の暴落にまきこまれて悪くなり、昭和六年の満洲事変まで続いたのです。

ですから、高度成長は永続性するわけはないのです。

ちょうど、喘息の発作が注射で一時に収まるようなものです。

家庭薬の場合も、思いきった転換をはかるべきでしょう。このままの形で生き延びられると考えてはいけないと思います。

息子が優秀でなければ、別な人に企業を任せて、体質を変えるべきだという気がしますね。

藤井 業界全体としての問題は流通だと思います。

メーカーはそれぞれ系列の問屋を利用しているわけですが、このシステムは近代化がおくれている面があるように思います。

いままでは、問屋さんが危くなれば、メーカーが協力して援助する余力があつたのですが、現在ではサルベージすることはできませんしね。

坂本 江戸時代には、問屋制度が合理的でして、問屋が仲に入つて、私としては、問屋無用論には全く反対なんです。アメリカには問屋が

ありませんが、それに代る問屋機能というものはあるわけです。

ただ、問屋の数が多いと、どうしても雑になつて、マーケティング機能を充分に果せなくなります。

マージンの追求のみでは、弊害が生まれてくるわけです。

アメリカの経営学者は、日本の流通は暗黒大陸だと云っていますね。根本的には、消費者側から出発すべきで、便利さとかで決まってくることです。

流通はこうあるべきだということではなく、個々の商品によって分化が行なわれるべきでしよう。藤井 消費者側に立つて考えるというお言葉はじつに大切なことだと思います。

メーカーはそれ系列の問屋を利用しているわけですが、このシステムは近代化がおくれている面があるように思います。

いままでは、問屋さんが危くなれば、メーカーが協力して援助する余力があつたのですが、現在ではサルベージすることはできませんしね。

坂本 江戸時代には、問屋制度が合理的でして、問屋が仲に入つて、私としては、問屋無用論には全く反対なんです。アメリカには問屋が

繁栄しているうちに、企業間で協力する方法はないでしょうか。

坂本 例えば、再販にしても、消費者にとって、どうしたらプラスに機能を充分に果せなくなります。

ただ、問屋の場合は、業界との接触でも雑になつて、マーケッティング機能を充分に果せなくなります。

消費者にとっては、日本では、消費者とともに、どうしたらプラスになるか、というような議論がオーブンに出でこなければダメですね。

消費者というと、いわゆる消費者団体のように思ひがちですが、そうではありません。ほんとうの消費者ではあります。ほんとうの消費者に、よく判らせるように努力すべきですね。

藤井 本舗家庭薬で、しかも同族経営という企業だけなら、できな

いことはなさそうですね。

坂本 それをスッキリ出して、大衆の判断に任せられるようにしたらどうですか。

藤井 連合体に加盟している企業の中には、立場の異なる会社もありますが、他の業界ではどうなっているんですか。

坂本 例えは、製鉄業界では、団体内で猛烈にやり合つてゐるわけですが、他の業界ではどうなつてゐるんですか。

坂本 いままでは、立場の異なる会社もありますが、他の業界ではどうなつてゐるんですか。

藤井 それは、立場の異なる会社ですが、他の業界ではどうなつてゐるんですか。

坂本 それは、立場の異なる会社ですが、他の業界ではどうなつてゐるんですか。

藤井 それは、立場の異なる会社ですが、他の業界ではどうなつてゐるんですか。

坂本 それは、立場の異なる会社ですが、他の業界ではどうなつてゐるんですか。

ようね。

ここ数年間に姿を消していったメ

ーカーさんの場合は、業界との接触が少なかつたようですから、やはり

連合体の効用もあると思いますね。

坂本 日本経済全体として、温情

のといった色合いが濃かつたわけ

ですが、それが崩れざるを得ないよう

な条件に変つてゐるんですね。

藤井 薬業界もきびしくなつてきて

ます。

藤井 家庭薬業界は、眠れる獅子

いや猫かも知れません。私の予感で

は、流通の面から火がつくような気

がします。

坂本 良い条件が悪い条件になりかえつて悪い条件が良い条件となることもありますね。

坂本 良い条件であるために、いろいろ

後れてしまつたりしますね。

藤井 外部の業種とのふれ合いが大切ですね。

家庭薬業界は、意識していません

が、閉鎖的ですよ。

日本の中企業連合体の宿命です

かねえ。

藤井 家庭薬は自力で戦力を整備

している企業が少いんです。

若手の経営者がどんどん出てきて

いる時代ですが、若い経営者にとって、自分の置かれている状況に不安

と苦悩があるのではないでしょ

うか。

坂本 アメリカの経営者、とくに若い経営者は危機感を持っていま

す。

日本では、今まで続いてきているんだからという安心感がありますがアメリカでは、いつぶれるかといふ危機感を持っているんです。

石油ショック以来、自信喪失の経営者もありますが、それをぶつ切つて、業界としてのビジョン、同時に自分の企業のビジョンを考えるべきですね。

十年先の計画を立て、そこから逆算して、今のことを考えるべきですよ。

よく、長期計画を樹ても無駄だ

といふ人もありますが、今のことを決めるために、将来のことを考えるべきなんです。

状況が変わったら、その段階で、見通しを調整すればいいわけです。

藤井 つまり、志を樹てよということですね。

坂本 私は失敗談の方が得意なん

です。(笑)

藤井 ぜひ、その失敗談をお聴かせ下さい。

坂本 なにしろ、長時間かかりますのでね。(笑)

さきほど、家庭薬業界はむつかしいと云われましたが、まず情報が必要だったのに、正確な情報をつかんでいかつたんです。

よく、講演会で「どうすればよいでしょうか」というご質問を受けるのですが、その質問者は「どうなっているか」ということをキヤッキしていませんですね。

藤井 家庭薬の経営者には、いろいろのタイプがありましてね。うちの祖父なんか、日本全国を歩いて廻つて、草鞋を履きつぶしたという人なんです。

いまでも、営業から、宣伝から、何から今まで、ご自分でやるという経営者がありますね。

坂本 これは映画の話なんですがアメリカ軍の将校は、何でも一人でやってのけるのに、ドイツ軍の方は組織がピラミッド式になつていてです。

これだと、情報が遅いし、至めら

れて入つてくることがあるわけなん

です。

自分の「分身」が情報を集めて、有能な人に

トップに直結するような、有能な将

校がいるといいのですね。

いましたが、無配になつたとき

に、失敗の原因は、情報が判らなかつたことだそうです。

戦時中の大本営発表はインチキだ

と云われていますが、必ずしもインチキではなかつたということです。

数字を集約するとああなつちやう

損害を受けているという情報をキヤッキではなかつたということです。

数字を集約するとああなつちやう

成功率は三割か、四割位ですね。

坂本 ごく限られた、有能な人に

高給を払うことになるわけですね。

藤井 私は、学術面とか、流通面

とかに分けて、情報集めは多人数の

方がいいような気がしています。

ところで、アントロプロノールと

いう言葉がありますね。企業家精神

と訳すのかも知れませんが、あれは

本来どういうことなんですか。

坂本 企業とは、文字通り、業を企てるということで、経営学より企

業学が必要なんです。

いつでも、企業家精神をフレッシュ

ュに持つべきだと思うわけです。

藤井 傭われ社長なら、危くなつ

たら、サッと身を引けますが、私たちは、十字架にかかっているわけで

す。

だから、大企業の経営者とは「生きもの」として違うんです。

どちらがホンモノだか知りませんがね。

坂本 それは十字架にかかってい

る方がホンモノですよ。

藤井 十字架にかかっていること

を自覚しなければいけませんけれどもね。

坂本 大企業の社長は、それほど

能力や識見がなくともできますが、

中小企業はむつかしいんです。

ここに、同族企業がいちばんむつかしいかも知れませんよ。

家庭薬業界では、理論より現実の方を重くみる傾向がありはしませんか。

理論と実際とはちがうという意見が多いかも知れませんが、飛躍するためには、理論を尊重すべきでしょうね。

藤井 妙なことをうかがいますが、社長は何年が限度でしょうか。

社長になつてからの勉強は梓にしばられますからね。

坂本 充電しないで、放電一方では駄目になります。

藤井 家庭薬業界では、社長期間が長すぎます。長くやらされるのは不幸ですよ……。

どうも本日はありがとうございました。

坂本 私は見捨てられたほうですよ。(笑)

(編集部から)

この対談のナマの声をお聞きになりたい方は、ご遠慮なくお申し出下さい。カセットテープをお貸しいたします。

元老に聞く

(第十回)

株式会社 小林至誠堂 小林岩水社長

今回もお相手は小林社長とご対面いたしました。昵懇の松田金之助東海貿易社長にお願いいたしました。

松田 小林さんのお生まれはこの甲府ですか。

小林 いえ、ここから十二糠ほど離れた現在は韋崎市になっていますが、釜無川沿いの大草村という所で明治三十八年に生まれました。

松田 いつ頃この薬業界に入られたのですか。

小林 十四才の時です。

松田 いつ頃この薬業界に入られたのですか。

しておられる株式会社小林至誠堂の小林岩水社長をそのご自宅にお訪ねしました。

松田 あの金看板が目にうかびますね。

小林 その後、奉天堂が経営的に問題になったことがあります。その時株式会社になり桜町の先代の幡野さんが常務取締役で入ってこられました。幡野さんがその時自分の店が留守になつてこまるから誰か若い者がほしいといわれまして、私が幡野さんのところに移されたわけですね。

野さんのところに移されたわけですね。幡野さんのところへ入られたものと手紙で徳川家康の家訓を書いてきました。それを百回読めっていうんです。学校へ行かなくたって勉強はできるだらうというわけなんです。

それがきっかけで私なりに勉強を始めまして、あの当時局方名を全部ラテン語で書いておぼえました。今はすっかり變ってしまいましたからあまり役には立ちませんがね。

松田 よく勉強されましたね。

小林 十八、九才の頃で、勉強

は行なつたからできたんでしよう。



小林岩水氏

松田 嶋野さんのところにはいつ頃までおられましたか。

小林 昭和四年までおりました。

ですから兵隊にも大正十二年兵で嶋野さんのところから出ました。

昭和二年に帰休で帰ってきました

後私もなんとか独立したいと考えておつたところ、小林至誠堂の先代から養子にという話があつたわけなんです。私も養子はいやでしたが、塩山の荒木薬局の先代に説得されまして、昭和四年にここへきた訳です。

松田 そういうえば当時、嶋野さんが小林さんを手放すのをいやがつたという話を聞きましたよ。

その当時のことで何か印象に残っていることをお話頂けませんか。

小林 そうですね、ここへきた当

時のことでも印象に残っているのは太田胃散と取引を始めた時のことです。池の端の守田宝丹の大旦那、守田治兵衛さんに太田さんの所へ連れていてもらいましたし、その口利きがあつて始めて取引をさせてもらつたんです。その最初の取引の時は太田胃散の二十銭の七五〇個入と五十銭の二五〇個入を各五ヶース仕入れたのですが、たしか五・五掛でしたからその代金は七百数十円だったと思います。それを現金で支払

うとしましたら、太田さんが現金取引は一切していないと言われました。その時はじめて為替手形というもの

を知つたんです。

それからあの当時は今と違つて、医家向の薬と売薬といわれた家庭薬の領域は、はつきり区別されていました。卸も甲府ではうちとマル金商店の二軒が家庭薬専業でやつてしましました。

松田 統制時代はどうでした。

小林 昭和十五年頃から統制が厳しくなりまして、山梨県で

も各地にできた統制会社と同じもので、山梨県地方医薬品配給株式会社というのができました。この会社は医家向医薬品と家庭薬、医療衛生品の三部門に分れておりまして、私が常務で家庭薬部門を担当しております。

した。

ですから、当時よく割当

てのことと厚生省へ行きましたが、豊田さんという技師が好意的に良くしてくれたことをおぼえています。

松田 戦後はいかがでした。

小林 昭和二十二、三年



昭和八年頃小林至誠堂店頭にて……右端が小林社長

頃から各製薬メーカーが復興してきましたが、三共のオリザニンや武田のメタボリンが発売されてようやく

業界の動きが活発になってきました。

これは卸においても同様でして、家庭薬専業卸が成立したことでもわ

かります。

この頃からかぜ薬、胃腸薬、目薬といった従来の家庭薬の領域に医家向メーカーが入りこんでくるようになりました。

松田 たしか、かぜ薬は武田が一番早かつたですね。

小林 この医家向メーカーの動き

しまして、山梨県で

も各地にできた統制会社と

同じもので、山梨県地方医

薬品配給株式会社というの

ができました。この会社は

医家向医薬品と家庭薬、医

療衛生品の三部門に分れて

おりまして、私が常務で家

庭薬部門を担当しております。

した。

ですから、当時よく割当

てのことと厚生省へ行きましたが、豊田さんという技師が好意的に良くしてくれたことをおぼえています。

を見過した結果が、家庭薬が年々圧迫されてきた今日の現状につながつているように思います。

これは卸においても同様でして、家庭薬専業卸が成立したことでもわ

かります。

それから当時は家庭薬に対する厚生省の認識が実に低かったですね。

昭和二十八年頃だったと思いま

が、こんなことがあります。

当時の厚生省は製薬事業としての家庭薬をまったくといつてもいいほど認めておりませんでしたから、それではいけないということで、津村重孝さん、中尾さん、竜角散の小池さん、和光堂の弘田さんといった人達を中心にして集まつてもらいました。

私が当時の厚生省の平瀬製薬課長（現三楽病院薬局長）と広瀬薬事課長

を無理やりひっぱりだして、一晩話をさせたんです。

これを機会として、厚生省も家庭薬に対する認識をだいぶ深めたようでした。この時に感じた事は家庭薬メーカーが個々ではなく、団体としてもつて活発に各方面に対して働きかけをしないと、その存在が薄らいでしまうのではないかということでした。ちょうどこの頃からじやな

かつたですか、家庭薬卸の廃業や転業が目立ってきたのは……。

松田 そうです。今では家庭薬専業を通しておられる卸さんは全国で

も数えるほどになってしましました

ですね。メーカーにしてもこれから

実施されるGMPや大衆薬の薬効再

評価によって存続できないところも

でてくるんじゃないでしょうか。

小林 そうでしょう。こまつた問

題ですね。

松田 話は變りますが、小林さん

が五十年近く家庭薬卸の経営者とし

て活躍されてきた考え方といつたこ

とにについてお話を頂けますか。

小林 そうですね、事業というの

は何んでもうそだと思いませんが、興

こすも潰すもまず人だと思います。

世の中は自分ひとりで生きてるわけ

じゃないんですから、相手の立場に

立つて反省することが必要だという

ことを私はいつも社員に言っている

んです。

まア明治生れの青年なんてものは

今は通用しなくなりましたが、人間

の本質といふものはいつの時代もそ

んなに變るものではないと思つてま

す。まずサービス精神、苦情は甘ん

じて受ける、それから言つことは卒

直に言つことです。つまりこの店の

名称でもある至誠ということが私の

基本的な考え方といえると思いま

す。

松田 小林さんが新薬に手を出さ

ず、他の卸の様に支店も出さずに、

このお店だけを守つてこられた信念

は何なんですか。

小林 私は家庭薬で育った人間で

すから家庭薬で終れば本望だとい

うことですよ。ですからうちのセー

ルス達にも「うちの本命は家庭薬な

んだぞ」ということをいつもいって

いるんですよ。

しかし、こんな田舎でも営業費率

は一〇パーセントを越えますから、

家庭薬のみでは経営が成立たないの

が現実として、衛生雑貨の取扱いも

増えていきます。

松田 最後に家庭薬メーカーに対

する提言をひとつお願いします。

小林 家庭薬メーカーさんの動き

をみてますと、言葉は悪いですが、

まるでザエの殻に入つた様に自分

の企業を守ることしか考えていない

ようになります。その結果、他のメ

ーカーや卸との連携がうまくできず

、チェーンや新薬メーカーにしてや

られていることが多いように思いま

す。そういった意味で各社ともそ

の開拓期の苦労を忘れているのではな

いでしょうか。

第二に価格体系が現状にあつていません。まず定価が安すぎるといえます。良く言えばそれだけ消費者に對して良心的なんでしょうね。

ため流通マージンが少くなるわけ

で、小売店にしても売つて儲からな

い家庭薬よりも、チエーンや新薬メ

ーカーの商品を推売するのはやむを得ないことだと思います。

実際に自社の商品がどの程度小売

店で推売されているかその現状を本

当につかんでおられるのかどうか疑

間に感じます。そういう調査を一

度やってみられるべきだと思いま

す。

この家庭薬メーカーの基本的な考

え方が結果としてチエーンや新薬メ

ーカーをここまで伸ばしてしまった

原因ではないでしょうか。家庭薬専

業の卸が年々経営が成立しなくなつた

て少なくなってきた現状をよく分析

して頂きたいです。

第三に末端のプロパー活動が家庭

薬の場合他のメーカーに比べて不足

しています。卸としての責任のがれ

をいうわけではありませんが、小売

店との人間関係をもつと密にする必

要があると思います。

本日はどうもお忙しいところ長時

間にわたり貴重なお話を頂きました。

題もあると思いますが、非常に小規模なメーカーでも年に何回か全店の訪宣をしているところがありますからやり方によつてはできるんじやないかと思います。

第四に新製品を出される時の事前のマーケティングリサーチが不十分ではないかと思います。

家庭薬メーカーの新製品をみてますと、その内容、市場導入方法などがあまりにも安い感じがします。

内容が良ければかならず売れるといふわけではありませんし、特に他に類似品がある場合はもつとよく研究すべきだと思います。

最後に卸の総会の時など年に一回しか無い機会なのに家庭薬メーカーの方はほんの数社しか顔を出されません。それは医家向のウェイトが高い卸が多いから出席しても意味が無いと考えておられるかもしれません、決して無駄ではありませんからぜひひ出席してほしいと思います

のを考えなおすべき時ではないかということですね。

本日はどうもお忙しいところ長時

間にわたり貴重なお話を頂きました。

薬とともに

四十有余年

(その十六)

松田金之助

池袋事件はメーカー、卸、小売り業各団体一丸となって一応の結着をついたものの、その余燐はおいそれとは治まりません。大型の乱売こそ下火になつても、あちらこちらと飛び火した乱売には手を焼きました。

一方、日本卸連では全国大会を開き、今回の事件の報告を行うと共に流通機構の改善、特にこの様な大きな事件の要因となつた事業所販売、入札、法規、労務関係等に検討を加えるため、各部門毎の委員会を発足させることになりました。

委員会は五つになり、それぞれ、故福神彰氏（第一）、中川佳英氏（第二）、安藤文夫氏（第三）、大河順三氏（第四）、室橋政之氏（第五）の方々が委員長に就任されました。

池袋事件はメーカー、卸、小売り業各団体一丸となって一応の結着をついたものの、その余燐はおいそれとは治まりません。大型の乱売こそ下火になつても、あちらこちらと飛び火した乱売には手を焼きました。

一方、日本卸連では全国大会を開き、今回の事件の報告を行うと共に流通機構の改善、特にこの様な大きな事件の要因となつた事業所販売、入札、法規、労務関係等に検討を加えるため、各部門毎の委員会を発足させることになりました。

委員会は五つになり、それぞれ、感謝状及び記念品を贈呈することが決定されました。

久しづびりの北海道旅行。大多数の方が夫人同伴で参加され、東京・大阪の空港よりそれぞれオーロラ号を借り切って、一挙に千歳空港へ乗り

生産者側の提案として、メーカー踏み切りましたが、その結果は予想に反して過当競争が日増しに激化する有様。翌三十五年には更に卸に対し厚生省より五項目の質問が発せられこれに對して宣言を行うと共に、新たに第六委員会を設け木村幸吉氏に委員長をお願いしました。又、機関紙の発行、日本卸連のマークの公募などPRにも努め、現在の題字「卸薬業」は時の厚生大臣中山マサ先生ご執筆になるものです。この機関紙「卸薬業」は日本卸連の貴重な財源として使命を果していることは、喜びに堪えません。

昭和三十六年三月の特別委員会の席上、同年七月札幌に於て総会を開催すること、及び、本会の創立二十周年を記念して札幌市のグランドホテルで厚生省、北海道薬務部の方々のご出席を戴き創立以来の功労者による感謝状及び記念品を贈呈することが決定されました。

昭和三十六年三月の特別委員会の席上、同年七月札幌に於て総会を開催すること、及び、本会の創立二十周年を記念して札幌市のグランドホテルで厚生省、北海道薬務部の方々のご出席を戴き創立以来の功労者による感謝状及び記念品を贈呈することが決定されました。

この大会後は厚生省とも定期的に懇談会を持つこととなりました。続いて昭和三十七年には、各地区の団体の要望で反対に九州で大会が開かれることとなり、大分の吉村会長のお世話で別府市杉の井ホテルが会場に決まりました。

この総会では卸団体の強化、卸連の組織と团结をモットーに掲げ、役員の改選は帰京後ということで、七月二十六日、改めて会長に東代清次郎氏が就任され、副会長には秋山康之進、安藤文夫、荒川長太郎、三宅健太郎、大黒清太郎の各氏と私が選ばれました。

この総会では卸団体の強化、卸連の組織と团结をモットーに掲げ、役員の改選は帰京後ということで、七月二十六日、改めて会長に東代清次郎氏が就任され、副会長には秋山康之進、安藤文夫、荒川長太郎、三宅健太郎、大黒清太郎の各氏と私が選ばれました。

軍艦長門の思い出

—穀象虫掃討作戦—

喜谷市郎右衛門

旧臘、阿川弘之氏の「軍艦長門の生涯」と題する本が刊行された

で、その発売の新聞広告を見た日

に、早速、買って来て、一気に読み終えた。

というのも、私がかつて、僅か三ヶ月の短期間であったが、長門に乗組んだことがあり、懐しく思ったからである。

昭和十四年三月、大学を卒業し、どうせ兵隊にとられるなら、海軍の

新陣容がスタートしました。しかし

この間、大阪の平野町、東京の神田

市場が益々発展する反面、正規の卸

店は極めて困難な事態に追い込まれ、卸薬業の厳しさが、ひしひしと迫つて来る感がありました。

（東海貿易・社長）

昭和十四年三月、大学を卒業し、どうせ兵隊にとられるなら、海軍の新陣容がスタートしました。しかし

この間、大阪の平野町、東京の神田

市場が益々発展する反面、正規の卸

店は極めて困難な事態に追い込まれ、卸薬業の厳しさが、ひしひしと迫つて来る感がありました。

（東海貿易・社長）

それから、約一ヶ月間の海軍砲術学校の教育、更に四ヶ月間の横須賀海軍病院及び海軍軍医学校の教育を終つたのが十一月末であった。そして、我々同期の九十九名の軍医科士

官と七名の薬剤科士官は、始めて、しばらくに分れて、夫々の部隊の配置につくことになった。

私は聯合艦隊司令部附兼第一艦隊司令部附という長い辞令を貰つて、直ちに、横須賀碇泊中の聯合艦隊の旗艦長門にある司令部に着任した。

着任と同時に、更に「乗艦を長門に指定す。同艦長の命を承け服務すべし」という発令を受けて、その日から長門に乗組むことになった。

長門乗組になつた同期の薬剤官がもう一人いた。それは現在田辺製薬の専務をしている高柳隆君である。

当時、海軍の薬剤官は全部で僅か二十名余り、年々の薬剤官の採用は一名位で、七名も一度に採用されたことは、はじめてであった。

そして、薬剤官の配置も、鎮守府所在地にある海軍病院の薬剤部勤務がほとんでもあつたから、これらに勤務してしまふと、海軍とは言ひながら、陸上ばかりで殆んど海上生活を知らない海軍軍人になつてしまふ。

そこで、海軍省では、我々に一度

海の生活を体験させてやろうといふ親心から、聯合艦隊所属の大きな艦に乗せて呉れたのであった。

令を頂いたが、長門や陸奥に薬剤官の配置があるわけなし、いわば乗艦実習といったことで、呑氣な生活が約三ヶ月続いたのである。

勿論、医务科に配属されて、軍医の指揮下に入つたのであるが、正式の配置がなく、従つて定まつた仕事がない。定まつた仕事がないということは、如何に呑氣であつても、やり切れないものである。殊に聯合艦隊の旗艦長門、山本司令長官の乗つている長門の艦内で、元氣激渾たる初級士官が、何もすることなく、ぶらぶらしているのは目ざわりだらうし、寝室のベッドの上で、暇つぶしに小説ばかり読んでいて申しきけない。

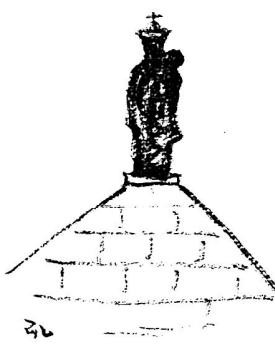
そこで、着任早々、恒例の艦内旅行を始めると共に、高柳君と相談して、艦内で我々薬剤官が出来そうなことを考えて過ごそうとしたのであるが、着任して一週間も経たないうちに、主計科から一つの仕事を頼まれることになった。

御承知のように、長門は陸奥と共に当時我が国最大の戦艦で、千二百人位の兵員を乗せていたので、消費する食糧も多く、米などは五つの米麦庫があつて、相当量を保有していあるから、名前だけは聯合艦隊司令部附などという、いかめしい辞

たので、何とか退治して貰えぬだろうかと言うことである。

そこで、薬剤科士官の腕のほどを示そうというわけで、高柳中尉と相談し、今までやつたことも、教わったこともない、穀象虫掃討作戦を引受けたことになつた。

先ず最初にやることは調査である。主計科の係の兵に案内させて、



これが用意することとし、殺虫作業当日は、この排気管は艦内廊下を通して甲板上まで延ばし、排気が艦内にもどらぬよう、排気口は舷側、海上に垂らした。

一方、殺虫用薬剤としては艦内での適切度、且つ入手の可能性があるなどを検討した結果、防疫用医薬品として、クロルピクリン剤のコクゾール（商品名）が横須賀海軍病院の医薬品倉庫に眠っていたので、これを使用することにした。

御承知の様に、クロルピクリンは揮発性の液体で、第一次世界大戦で獨乙軍により始めて用いられた塩素系の毒ガスであり、当時はよく、穀物の殺虫や、南京虫など害虫の駆除に使われていた。この様に害虫駆除に使われる理由から、防疫用医薬品として、薬剤部が持っていたわけ

が開いていないかどうか、目張りが必要ならどこにやればよいかなどを調べた。

次に万が一、燻蒸中にガスが洩れ、急速に排気を要する場合にどうするか、又排気不充分の倉庫を急速に排気するにはどうするかを検討し、幸い、長門に防毒対策用のキャノンバス製の移動排気管と、モーター付排気装置があることを知ったので、これも用意することとし、殺虫作業当日は、この排気管は艦内廊下を通して甲板上まで延ばし、排気が艦内にもどらぬよう、排気口は舷側、海上に垂らした。

である。

このような準備に四、五日かかり、掃討作戦実施当日を迎えた。

クロルピクリン撒布後、数時間燻蒸させ、その後排気、消毒等の作業が夕方の兵員上陸時間迄に完了するよう配慮して、朝六時に作業を開始した。

予め、孔の目張りや、排気の準備は済んでいるので、朝の作業は薬剤を撒布するだけである。

先づ、第一倉庫から第五倉庫まで、番号順に、かねて準備して、倉庫内に斜めに立て掛けたるムシロの上に、クロルピクリンを必要量づつ撒布し、倉庫の入口を密閉して行き、一時間も経たずに、この撒布作業は終了した。

あとは、そのまま密閉しておいて、午後二時か三時頃に排気のモーターをかけ、適当な頃、ムシロに残っているクロルピクリンを、亜硫酸ソーダ溶液などで分解消毒すれば作戦完了と思っていた。ところがである。

長門は少くとも当時の造船技術の粹を尽した第一級の戦艦であり、その防水防毒設備などは、恐らく最高だらうから、万一のガス洩れなど有り得まいと考える一方には、先日の

調査の際に、長門は度々、改装、改

造をしているので、どうも古い鉄板を使っているらしい小孔などを認めたり、早く排気した倉庫でも、ますますの殺虫効果があがっていた。

しかし、ガスが洩れ出して、兵員が眼がチカチカすると言い出した。

九時頃であつたろう。

薬液撒布後も、万一对心配して様子を見ていたのだが、艦内廊下を通る兵員が、変な臭いがする、眼がチカチカすると言いたい出した。

そこで、調べて見ると、治療室下

部にある第一、第二倉庫は無事だが、第三、第四、第五倉庫がガス洩れしているらしいことが分った。

前述の様に、クロルピクリンと言えども毒ガスの端くれなので、これが艦内に拡散して、兵員が倒れてもするよと心配になると思いつた。

の第三、第四、第五倉庫は早急に排気を開始し、昼食前には防疫マスクを着けて倉庫内に入り、消毒を終えてしまつた。

第一、第二倉庫は予定通り燻蒸を続け、午後三時頃から排気を行い、兵員上陸時までには消毒を完了した。

戦果は予想したより上々で、各倉

庫共、短かい燻蒸時間の割には、大量の穀象虫の死骸が累々と横たわ

り、早く排気した倉庫でも、ますますの殺虫効果があがっていた。

しかし、ガスが洩れ出して、兵員

達が、眼がチカチカすると言った時には、どこに、どんな孔がある

のか分らないので、ひょっとして大

事になつたら困るなど心配をした。

この作戦で私達の感じたことは、

殺虫効果よりもむしろ、長門は案外ボロ艦で、これでは魚雷一二、三発でもろくも沈んでしまうのではないか

と言ふことであつたが、幸運にも長門は戦争中を生き永らへて、帝国海軍唯一の生き残りの戦艦となつた。

しかし、そのお蔭で、戦後、米軍に引き渡され、ビキニ環礁での原爆

実験に使用され、昭和二十一年七月二十九日の夜半沈没、二十五年八ヶ

月の生涯を終えたといわれる。

私はこの掃討作戦後、種々貴重

昭和四九年一〇月一五日社団法人の認可を受け設立された。

◎ J A R O の事業目的

昭和四九年一〇月一五日社団法人の認可を受け設立された。

月の生涯を終えたといわれる。

私はこの掃討作戦後、種々貴重

昭和四九年一〇月一五日社団法人の認可を受け設立された。

月の生涯を終えたといわれる。

(講演要旨)

J A R O の現状と将来

専務理事 安 達 義 幸

◎ J A R O の設立

昭和四五年にアメリカ翌四六年にはヨーロッパの広告自主規制機関を

視察し、日本は広告量も非常に多く

先進国であるのに、このような機関

がないのは好ましくないと発想か

ら、アメリカの B B B を目標とし

業と広告への信頼を高め公正な企業活動を推進し、社会経済の健全な発展に寄与することを目的としている。

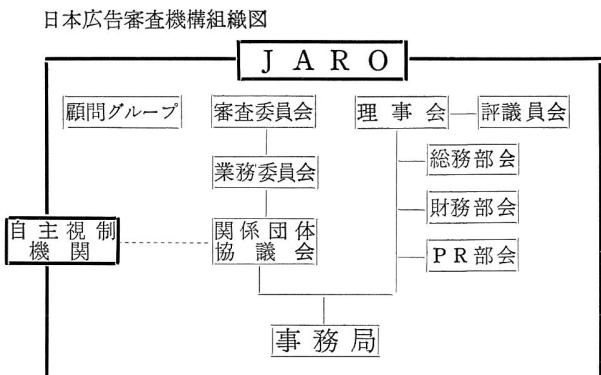
◎ J A R O の事業内容

(1) 広告表示に関する問合せの受付、処理

(2) 広告表示に関する審査、指導

広告表示に関する基準の作製

- (4) 広告主、媒体、広告業の自主規制機構との連携、協力
- (5) 消費者団体、関係官庁との連絡、協調
- (6) 企業、消費者に対する教育、PR活動
- (7) 情報センター機能の確立
- (8) その他目的達成のための必要事項



◎ JARO の組織と運営

- (7) 情報センター機能の確立
- (8) その他目的達成のための必要事項

一、審査処理部門
　消費者、官庁、企業、媒体、広告代理業からの問合せに対応し、審査処理を行う部門である。
　審査処理を行なうために関係団体協議会、業務委員会、審査委員会が設けられている。

二、運営部門
　JARO の運営の柱として理事会があるが、その下に総務部会、財務部会、PR部会が設けられており、機構の運営に当っている。上記二部門に関連し、諮問に応ずる部門として評議員会と顧問グループが設けられている。

◎ JARO の会員及び地区会員数

東海、北陸、中部	近畿	中国、四国	九州
三五	三〇	三〇	二五
二五	五一	一八	九
二五	三〇	三〇	州

計 四一二社 二五七社

東京	二五七	北海道	一六	東北	一六	関東(東京を除く)	六	新潟	五四	放送	七六	新聞	一六〇社	主機	視閲	自機主	顧問	会員数
									四二	三六	二七	五四	七八社					五一年二月一日現在 参考
									一〇二	八二	一九	七六	一六〇社					五一年二月一日現在 参考
									四三三社	二五七社	一〇	四二	七八社					五一年二月一日現在 参考
									四二三社	二五七社	一〇	五四	一六〇社					五一年二月一日現在 参考

- (2) 各業界にある（ない業界もある）
　関係団体協議会

苦情問合せ件数

昭和五一年一月末日現在

JARO の組織は次の二大部門に分かれている。

- (1) 問合せ苦情は事務局で受け付け、それに関する情報が手元にあれば直ちに回答する。
　情報がない場合は被申立者（企業等）に照会し、その回答を申立者に送る。
　それでも納得しない場合は次の方法をとる。
　(i) 被申立者の属する業界に自主規制組織がある場合は、その機関に照会し、その回答を送る。
　(ii) 自主規制組織がない場合は業務委員会に依頼する。
　もし、その広告主が従わない場合は必要に応じて公表され、媒体各社（新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等）に対して、その掲載の差止め等の処置を求めることが出来る。
 - (2) 審査部門のいわば最高裁判所にあたるもの。業務委員会で結論の出ないもの、あるいは、申立者が業務委員会の結論に納得しない場合この委員会にかけられる。
　この委員会は公正、中立な立場から審査するため広告主、媒体、広告業に関係ある人は一切含まれていない。
　審査の結果、申立人の主張が正しいと認められればその広告の修正あるいは停止を決定する。
 - (3) 業務委員会
 - (4) 審査委員会
- 公正取引協議会や日本製薬団体連合会、日本菓子BB協会のような自主規制機関とJAROとの連絡機関である。

(設立時より)

苦情

受付件数

うち解決済み

委員会審議のもの

業務委員会

審査委員会

業種別で多いのは、食品(二八件)

不動産(一八件)出版(一件)である。

媒体別で多いのは、新聞(六四件)放送(五三件)雑誌(一七件)である。

問合せ

受付件数

業種別で多いのは、食品(二八件)

不動産(一八件)出版(一件)である。

媒体別で多いのは、新聞(六四件)放送(五三件)雑誌(一七件)である。

問合せ

受付件数

業種別で多いのは、食品、広告一般、医薬医療が共に九件でトップである。

媒体別で多いのは、新聞(三八件)放送(一五件)雑誌(六件)である。

媒体別で多いのは、新聞(三八件)放送(一五件)雑誌(六件)である。

媒体別で多いのは、新聞(三八件)放送(一五件)雑誌(六件)である。

媒体別で多いのは、新聞(三八件)放送(一五件)雑誌(六件)である。

媒体別で多いのは、新聞(三八件)放送(一五件)雑誌(六件)である。

媒体別で多いのは、新聞(三八件)放送(一五件)雑誌(六件)である。

媒体別で多いのは、新聞(三八件)放送(一五件)雑誌(六件)である。

四、地方の会員が非常に少ないので強化し、会員をふやしたい。

五、JAROの定款を修正し、より立派な定款にする。

東京都中小企業団体中央会長
表彰

達義幸先生の「日本広告審査機構の現状」と云う演題で講演会(広告委員会主催、東京薬友会協賛)を開催した。時宜を得た有意義なもので出席者は約八十名の多数で午後四時終了した。

太田 昭殿(株式会社太田胃散)
堀 泰助殿(救心製薬株式会社)

友田真二殿(三共ゾーキ株式会社)

歌橋一典殿(ニチバン株式会社)

町田 弘殿(町田製薬株式会社)

建林静枝殿(建林松鶴堂)

新任者紹介

清水謙明氏

昭和五十一年二月一日国立衛生試験所(業務課長)から村川清事務局

合同家庭薬新年互礼会(東京地区)を開催した。出席者は約三百名の多

数で盛況裡に午後三時終了した。

●昭和五十一年一月六日午後三時から東京プリンスホテルにおいて昭和五十年薬事功労受賞者祝賀会を四団体共催により開催した。

●昭和五十一年一月六日午後三時から東京プリンスホテルにおいて四団体共催による新年賀詞交換会を開催した。出席者は約三百名の多

数で盛況裡に午後五時終了した。

植物愛好者

若林郁子さん

若林ふみ子と読む。昭和五十一年四月二十日業務の拡大に対処して採用。

運動が趣味という昭和三十四年生れ、日本舞踊も行うという活発で可愛いいお嬢さんである。

●

昭和五十一年一月七日午後三時か

ら大阪ニューコクサイにおいて東西

合同家庭薬新年互礼会(大阪地区)を開催した。出席者は約三百名の多

数で盛況裡に午後五時終了した。

かていやく第三三号

昭和五一年七月二十日発行

編集・印刷・発行

東京都家庭薬工業協同組合会報

東京都家庭薬工業協同組合
電話(五四三)一七八六

東京都知事賞
堀為三郎殿(救心製薬株式会社)

三十分から東京薬業会館において日本広告審査機構専務理事(代行)安

また、ある程度まとめて販売する。